

# 東北大学全学教育科目 情報基礎 A

## 第1回 オリエンテーション

担当: 大学院 情報科学研究科

塩浦 昭義

[shioura@dais.is.tohoku.ac.jp](mailto:shioura@dais.is.tohoku.ac.jp)

<http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching>

# 端末の起動

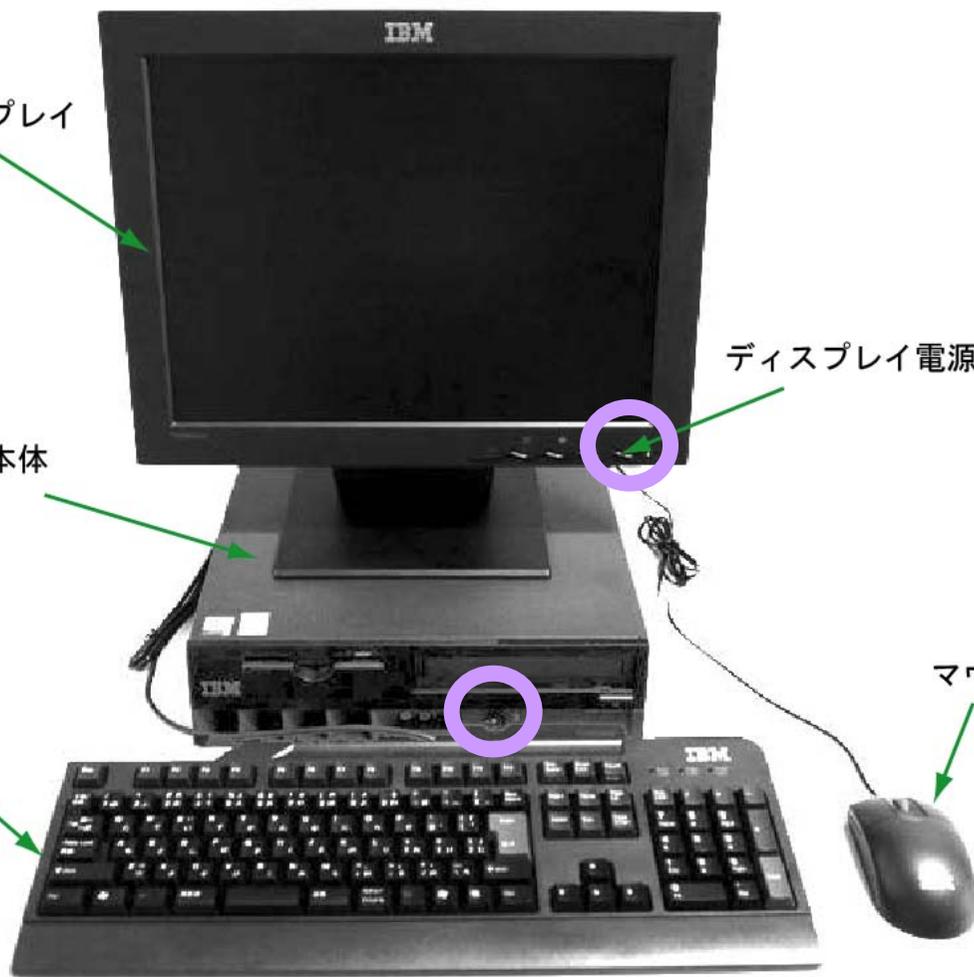
液晶ディスプレイ

ディスプレイ電源スイッチ

本体

キーボード

マウス



# 情報教育用計算機システムの利用

## Login (ログイン)

正規利用者がシステムの利用開始を伝える手続き  
利用者番号とパスワードによる利用者認証が必要

## Logout (ログアウト)

システムの利用を終了する手続き

# 利用者番号と初期パスワードの作成

授業で最初にやるべき事 (学生編)

## 配布資料

### 1 利用者番号と初期パスワードについて

教育用電子計算機システムを利用するためには、利用者番号と初期パスワードが必要です。

- 利用者番号には、学籍番号（アルファベットは小文字）を利用します。
- 初期パスワードは、各自、手計算により算出します。算出方法は、裏面を参照して下さい。

### 2 教育用電子計算機システムにログインする

利用者番号とパスワードをログイン画面から入力することで、ICL 演習室及び情報科目相談室に設置されている Linux/Windows 端末および Mac 端末を利用することが出来ます。その際に使用する利用者番号とパスワードは、端末や OS に関係なく、各利用者ごとに共通です。

利用者番号とパスワードには、大文字と小文字の区別があります。大文字は[Shift]キーを押しながら入力してください。

### 3 受講登録を行う

1. ログインが完了した後、画面上の「ブラウザ」のアイコンから Web ブラウザ (Mozilla や IE) を起動し、メニューの [ブックマーク] (I E の場合は [お気に入り]) から [授業援助システム] をクリックします。すると授業援助システムのログインページが表示されますので、ここで USER-ID の欄に利用者番号を、PASSWORD と書いている欄にパスワードを入力し、「Login」ボタンをクリックして授業援助システムへログインします。
2. ログインに成功すると、授業援助システムのメインメニュー (Student Menu) が表示されます。授業担当教員の指示に従って、このメインメニューの「Course registration」ボタンをクリックすると、授業を受講するかどうかを質問するウィンドウが表示されます。ここで、その授業を受講する場合には「Yes」のボタンをクリックしてください。
3. なお、教員が受講登録を受付けていない場合や、既にその授業の受講学生簿に登録されている場合に、「Course registration」ボタンをクリックすると「Not Permitted.」のメッセージが表示されます。受講登録が正しく行われたかどうかを確認するには、メインメニューで、「Confirmation registration」のボタンをクリックして下さい。

# 1 利用者番号と初期パスワードについて

教育用電子計算機システムを利用するためには、利用者番号と初期パスワードが必要です。

(例)

学籍番号： A6JB1230      生年月日： 1985年1月1日

名前： 後藤(ゴトウ)      出身高校所在地： 富山県

- 利用者番号には、学籍番号 (アルファベットは小文字) を利用します。

利用者番号は **[a6jb1230]**

- 初期パスワードは、各自、手計算により算出します。算出方法は、裏面を参照して下さい。

# 初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230

生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ)

出身高校所在地: 富山県

図1

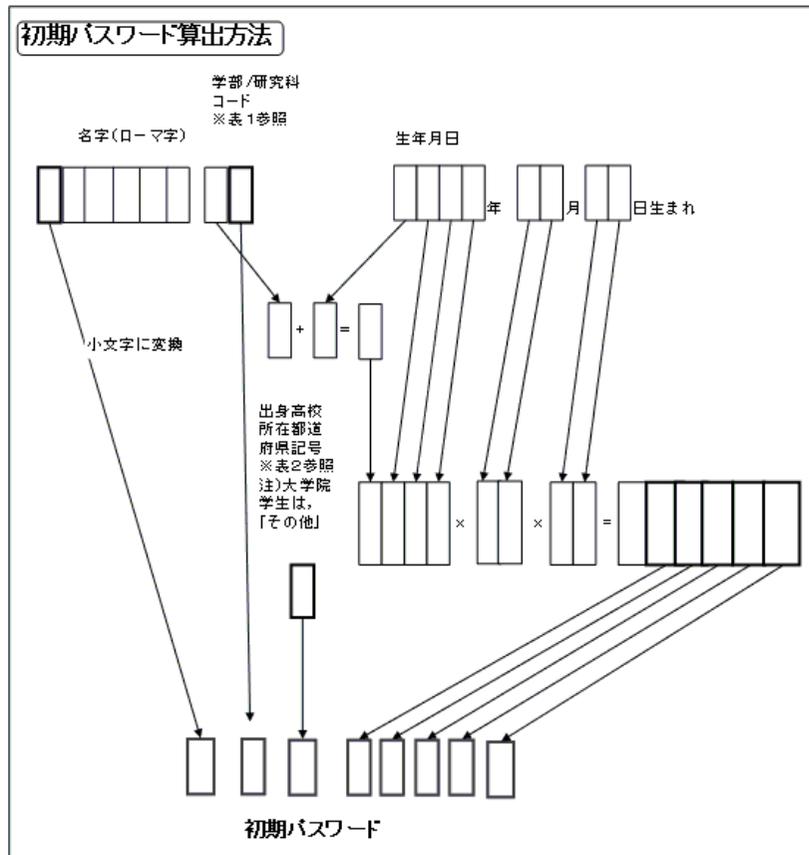


表1. 学部/研究科コード一覧

コード	学部/研究科名
01	文学部
02	教育学部
03	法学部
04	経済学部
05	理学部
06	医学部
07	歯学部
08	薬学部
09	工学部
10	農学部
21	文学研究科
22	教育学研究科
23	法学研究科
24	経済学研究科
25	理学研究科
26	医学系研究科
27	歯学研究科
28	薬学研究科
29	工学研究科
30	農学研究科
41	国際文化研究科
42	情報科学研究科
43	生命科学研究科
44	教育情報学教育部
45	環境科学研究科
90	医療技術短期大学部

表2. 出身高校所在都道府県記号一覧

都道府県	記号	都道府県	記号
北海道	a	大阪府	A
青森県	b	兵庫県	B
岩手県	c	奈良県	C
宮城県	d	和歌山県	D
秋田県	e	鳥取県	E
山形県	f	島根県	F
福島県	g	岡山県	G
茨城県	h	広島県	H
栃木県	i	山口県	I
群馬県	j	徳島県	J
埼玉県	k	香川県	K
千葉県	l	愛媛県	L
東京都	m	高知県	M
神奈川県	n	福岡県	N
新潟県	o	佐賀県	O
富山県	p	長崎県	P
石川県	q	熊本県	Q
福井県	r	大分県	R
山梨県	s	宮崎県	S
長野県	t	鹿児島県	T
岐阜県	u	沖縄県	U
静岡県	v	その他	V
愛知県	w	・留学生	
三重県	x	・大検合格者	
滋賀県	y	・大学院学生	
京都府	z		

注) 計算結果, 5桁に満たない場合は, 5桁になるように先頭に0をつけること。

# 初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230

生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ)

出身高校所在地: 富山県

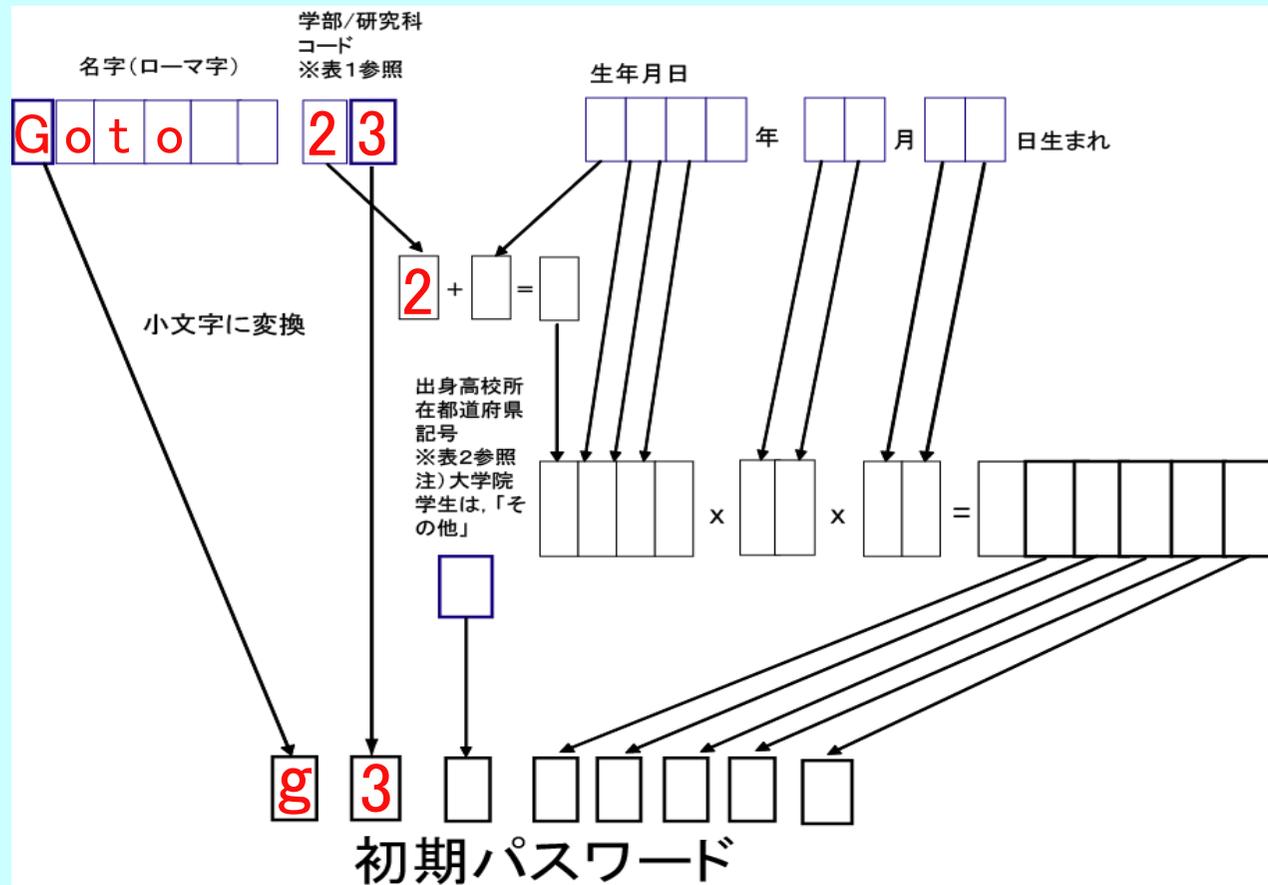


表1. 学部/研究科コード一覧

コード	学部/研究科名
01	文学部
02	教育学部
03	法学部
04	経済学部
05	理学部
06	医学部
07	歯学部
08	薬学部
09	工学部
10	農学部
21	文学研究科
22	教育学研究科
23	法学研究科
24	経済学研究科
25	理学研究科
26	医学系研究科
27	歯学研究科
28	薬学研究科
29	工学研究科
30	農学研究科
41	国際文化研究科
42	情報科学研究科
43	生命科学研究科
44	教育情報学教育部
45	環境科学研究科
90	医療技術短期大学部

# 初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230

生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ)

出身高校所在地: 富山県

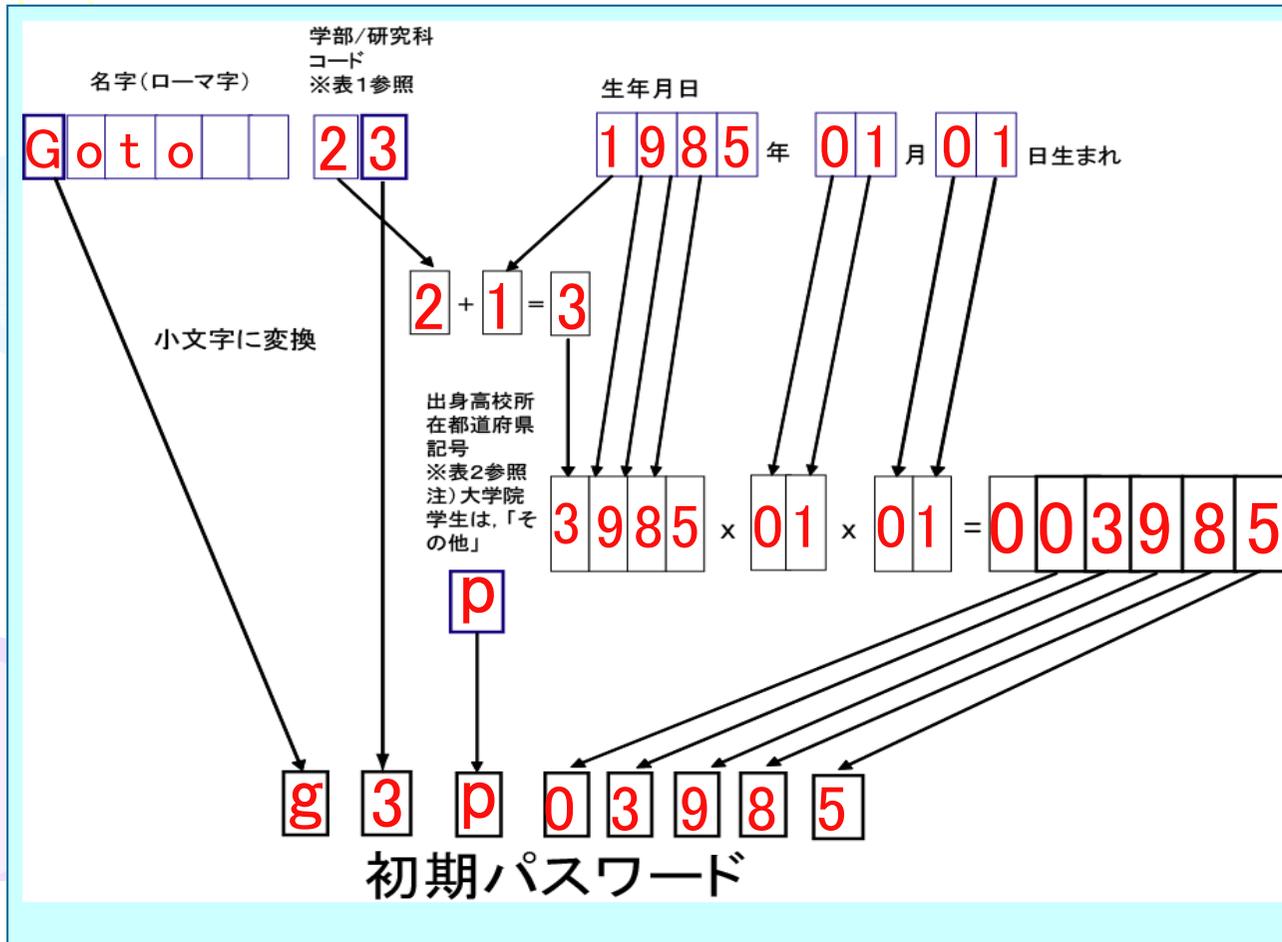


表2. 出身高校所在都道府県記号一覧

都道府県	記号	都道府県	記号
北海道	a	大阪府	A
青森県	b	兵庫県	B
岩手県	c	奈良県	C
宮城県	d	和歌山県	D
秋田県	e	鳥取県	E
山形県	f	島根県	F
福島県	g	岡山県	G
茨城県	h	広島県	H
栃木県	i	山口県	I
群馬県	j	徳島県	J
埼玉県	k	香川県	K
千葉県	l	愛媛県	L
東京都	m	高知県	M
神奈川県	n	福岡県	N
新潟県	o	佐賀県	O
富山県	p	長崎県	P
石川県	q	熊本県	Q
福井県	r	大分県	R
山梨県	s	宮崎県	S
長野県	t	鹿児島県	T
岐阜県	u	沖縄県	U
静岡県	v	その他	V
愛知県	w	・留学生	
三重県	x	・大検合格者	
滋賀県	y	・大学院学生	
京都府	z		

# PCの配置図

開放時間 8:50~17:50  
MacOS端末



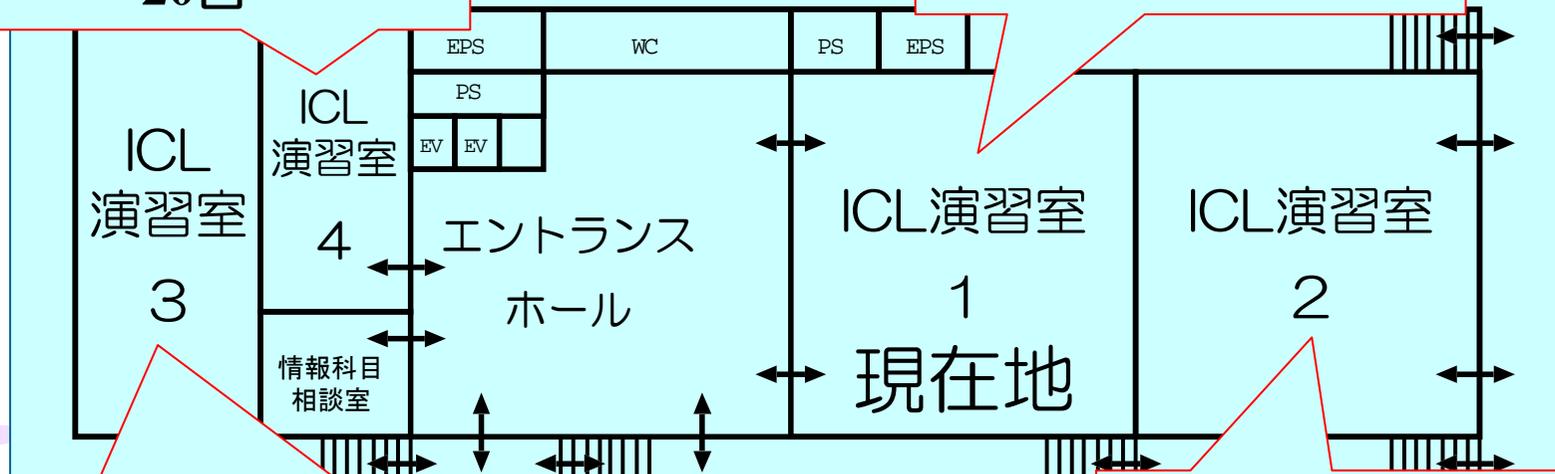
20台

開放時間 8:50~17:50  
Linux/Windows端末



152台

ディア教育研究棟



開放時間 8:50~20:45  
Linux/Windows端末



55台

MacOS端末



2台

開放時間 8:50~20:45  
Linux/Windows端末



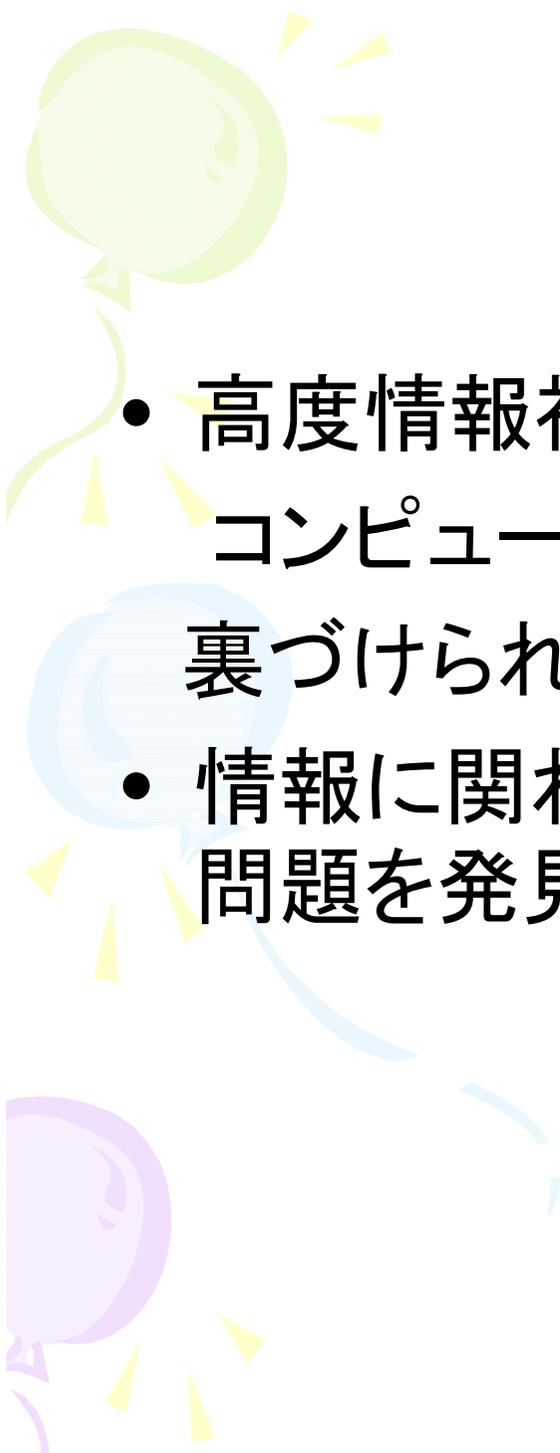
152台

# 初期パスワードの変更

簡単な個人情報が入手できれば、他人でも容易に生成できるので、初期パスワードのまま放置するのは非常に危険.

本人にとって忘れ難く、かつ他人から容易に推測されなさそうなパスワードに変更する！

- ・自分の頭にのみ記憶させる. 紙などに記録するのは×
- ・極端に短い文字列, 単純な文字列は×
- ・誕生日など, 推測されやすいものは×
- ・他人に教えるのは絶対×



# 講義目標

- 高度情報社会を生きるにあたって、  
コンピュータサイエンスの知識に  
裏づけられた強い情報対応能力を獲得する
- 情報に関わる科学や技術と人間との関係に  
問題を発見する能力を獲得する。

# 情報基礎 A 講義概要

## 目的

- ・ 問題解決の技術
  - ・ 数学的な解決方法の構築
- る基礎体力の習得

情報処理

情報活用

情報倫理

- ・ 情報の可視化
- ・ 文書や Web によるプレゼンテーション

- ・ ネットワーク社会における倫理
- ・ 情報関係の法律・知的財産権
- ・ (セキュリティに関する知識)

情報の原理的事項

- ・ 計算機やネットワークシステムに関する基礎知識
- ・ 情報の科学的な理解

# なぜ, Linuxを使うのか？

大学の授業は 街中のパソコン教室 ではない!!

将来, MS-Windows に代わるシステムが広がってくる可能性は十分にある. (例: MacOS, Linux, Solaris)

→ 特定のシステムにのみ適応する能力しかないともはやついていけなくなる.

重要なのは...

システムの違いに依存しない, 普遍的な概念を理解する能力  
未知のシステムにも適応できる能力の獲得

# 今後の予定

第2回目 — ネットワークの仕組み・サービスの利用

第3回目 — 統計処理(1)

第4回目 — 統計処理(2)

(予定は変更の可能性もあります)

2009年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15 経 第1回	16 法 第1回	17	18
19	20	21	22 経 第2回	23 法 第2回	24	25
26	27	28	29 祝 日	30 法 第3回	5/1	5/2

2009年5月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6 休 日	7 法 第4回	8	9 経 第3回
10	11	12	13 経 第4回	14 法 第5回	15	16
17	18	19	20 経 第5回	21 休 講	22	23
24	25	26	27 経 第6回	28 法 第6回	29	30 経 第7回

下記のWebサイトも参照のこと

<http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching/>

## 出席

評価の対象であり出来るだけ参加することを勧める

## レポート

ほぼ毎回の授業毎にレポート課題を出す  
出来るだけ（中途半端でも構わないので）提出すること  
ただし、特別な理由なく、

**欠席回数とレポート未提出の回数の合計が  
3回以上の場合、単位は不可**

## 成績

レポートの提出回数とその内容、  
及び出席状況による評価  
合計100点満点

## 質問など

学籍番号と氏名を明記の上、電子メールで  
[shioura@dais.is.tohoku.ac.jp](mailto:shioura@dais.is.tohoku.ac.jp)

## 教科書など

利用の手引き Digital Campus 2009

### 講義ノート

<http://www.ise.he.tohoku.ac.jp/notes/notes.html>

注意！印刷可能枚数は120枚／半年



## 復習コースの開講

案内 <http://www.ise.he.tohoku.ac.jp/notice/seminar.html>

## 塩浦担当の講義のHP

レポートや今後の予定については下記のサイトを参照

<http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching/>

# その他

## 実習室の利用

講義中でない実習室は自習に使うことができます。(実習室開放時間帯に注意)

## テクニカルアシスタント (TechA)

情報科目相談室 に常駐しており,利用者の相談に応じています.

